

# デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社

---



会社説明資料  
(プライム:3916)

2026年2月15日



1

会社紹介

2

当社の特長と今後の計画

# 会社概要

会社名 デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社（略称:DIT）  
Digital Information Technologies Corporation

設立 2002年1月4日（創業1982年）

事業内容 業務系システム開発  
組込系システムの開発及び検証  
システム運用サービス  
自社開発ソフトウェア販売およびシステム販売事業

本社所在地 東京都中央区八丁堀4-5-4 FORECAST桜橋5階

従業員数 1,630名(単体1,319名) 契約社員等含む、2025年12月末現在

資本金 453百万円

グループ会社 DITマーケティングサービス株式会社  
DIT America, LLC.  
株式会社シンプリズム  
システム・プロダクト株式会社  
株式会社ジャングル

連結業績 前期実績 売上高 24,159百万円、営業利益 3,013百万円(2025年6月期)  
今期予想 売上高 26,000百万円、営業利益 3,050百万円(2026年6月期)









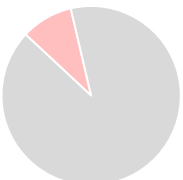
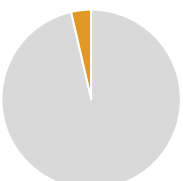
代表取締役社長執行役員 市川 聡

2004年3月 当社入社  
2007年7月 執行役員 経営企画本部  
経営企画部長  
2010年7月 執行役員 事業本部部長  
2012年9月 取締役 執行役員経営企画部長  
兼 商品企画開発部長  
2015年7月 常務取締役 事業本部長  
2016年7月 代表取締役専務執行役員  
2018年7月 代表取締役社長

# 国内外の事業拠点



# 事業セグメント概要

事業セグメント		売上高構成比率(※)	事業内容		位置づけ
ソフトウェア 開発事業	ビジネス ソリューション	 54.6%	業務システム開発	 32.1%	事業基盤
			運用サポート	 22.5%	
	エンベデッド ソリューション	 32.4%	組込みシステム開発	 22.8%	事業基盤
			組込みシステム検証	 9.6%	
	プロダクト ソリューション	 9.4%	ソフトウェア製品開発・販売		成長分野
システム販売事業		 3.6%	他社製システム販売		事業基盤

※ 2025年6月期 通期実績

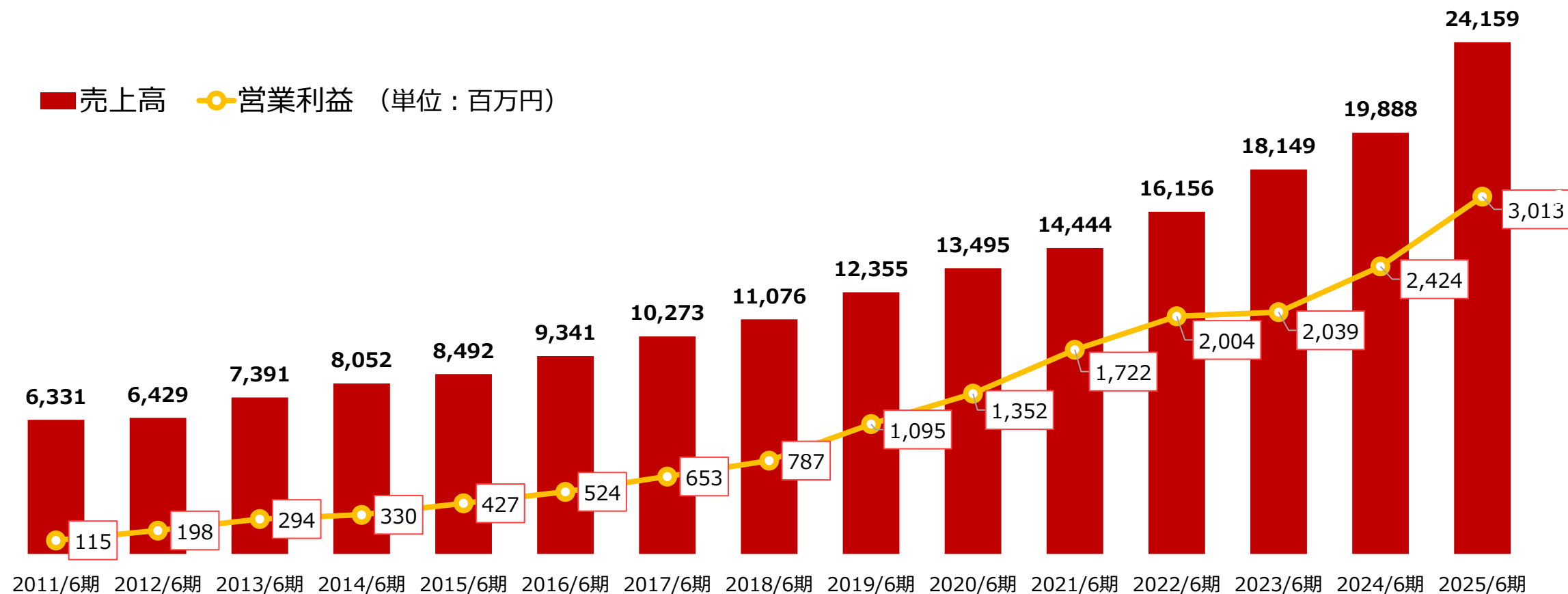
1

会社紹介

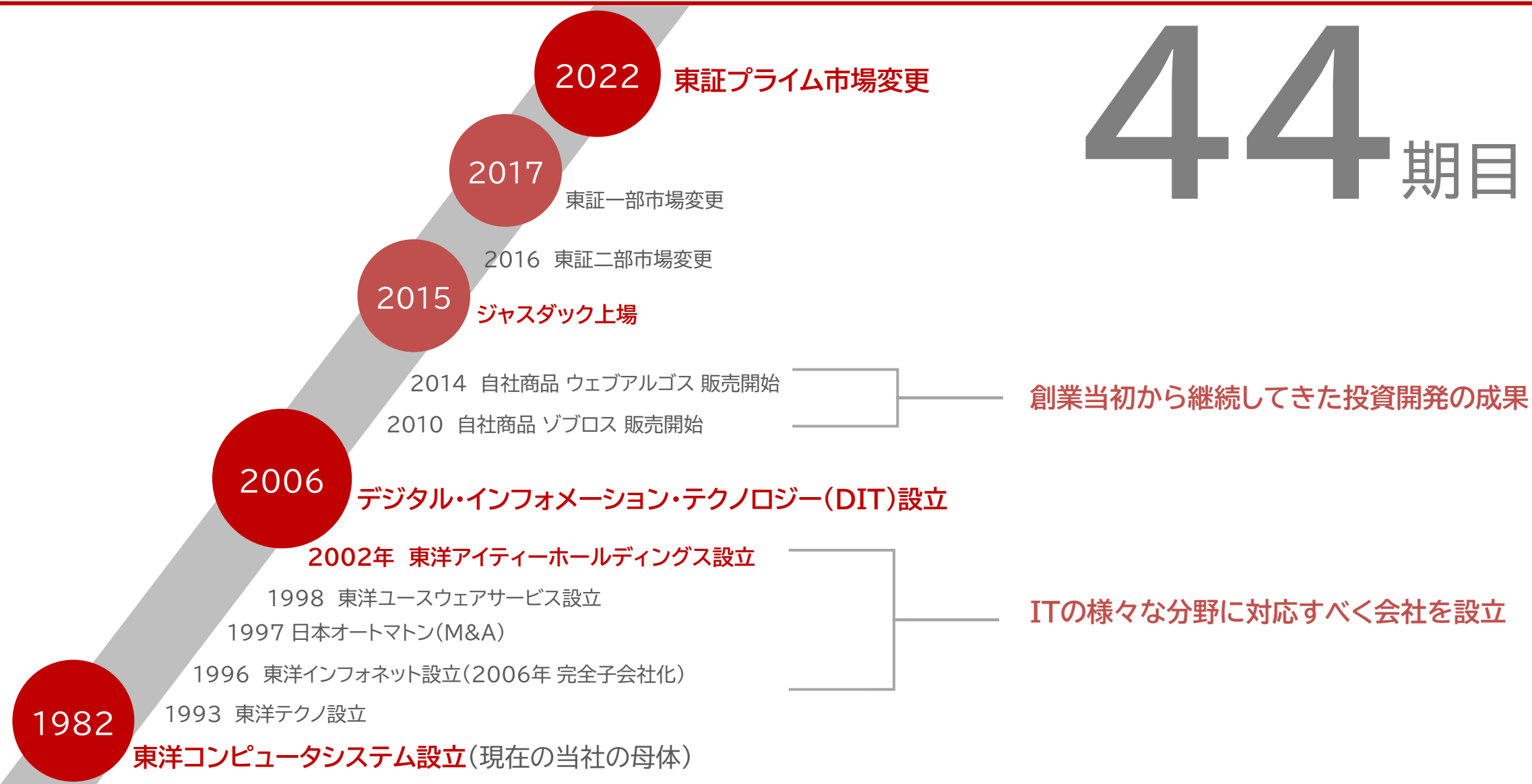
2

当社の特長と今後の計画

## 15期連続、増収・増益



## 44期目

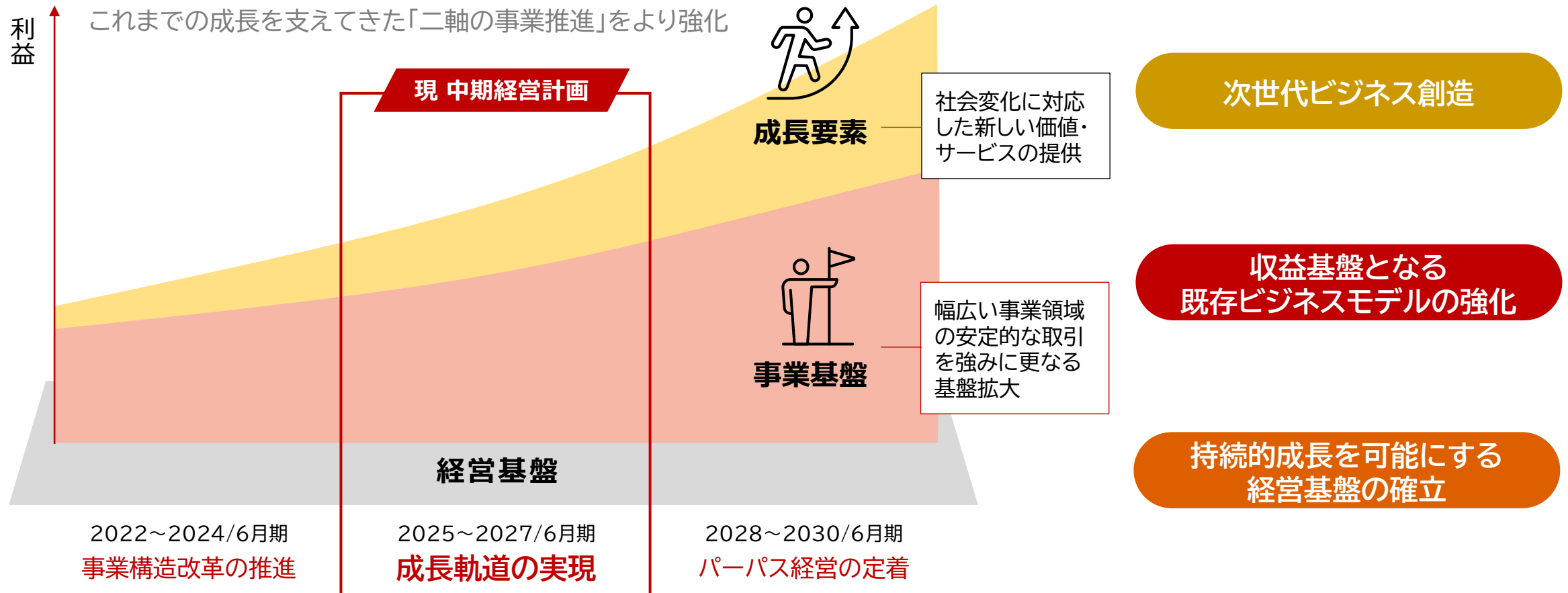




# パーパス経営の推進と中長期成長モデル

## Purpose

「進歩」を続ける<sup>デジタル</sup>デジタル社会(変化)を<sup>インフォメーションテクノロジー</sup>ITの力(対応力)で支え、人々の生活を豊かに。



# 優良な顧客群

## 多くの国内大手企業との長期的・直接的なお取引実績



大手銀行グループ  
A社



ITサービス大手  
B社



大手通信会社グループ  
C社



設備機器メーカー  
D社



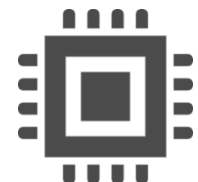
大手自動車メーカー  
E社



ITサービス大手  
F社



大手航空会社グループ  
G社



半導体メーカー  
H社

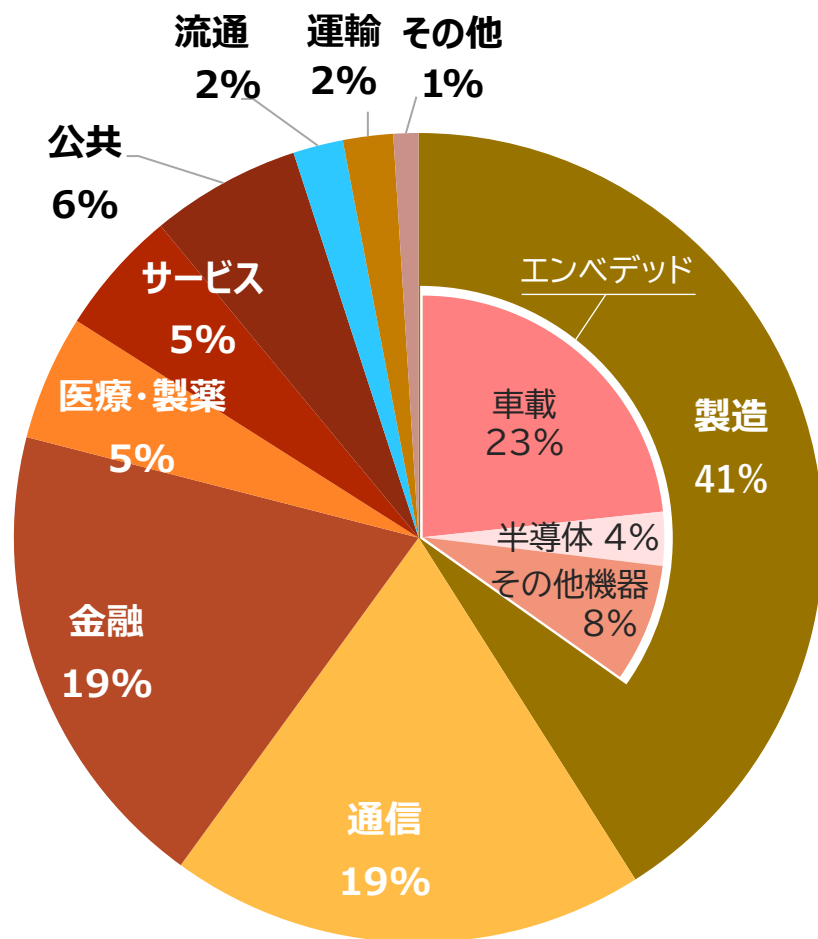


自動車部品メーカー大手  
I社

ほか多数

# 多業種にわたる顧客基盤

業種別売上高構成比(※)



## ■ソフトウェア開発事業の業種別売上高構成（左図）

- ・情報システム子会社を含めた  
エンドユーザー売上比率は **80%**

## ■D I Tグループの取引先は **約2,900社**

- ・ソフトウェア開発事業は上場企業及びその関連会社、  
システム販売事業は中小企業が主

※ 2025年6月期 通期実績

# 主力自社商品:WebARGUS(ウェブアルゴス)

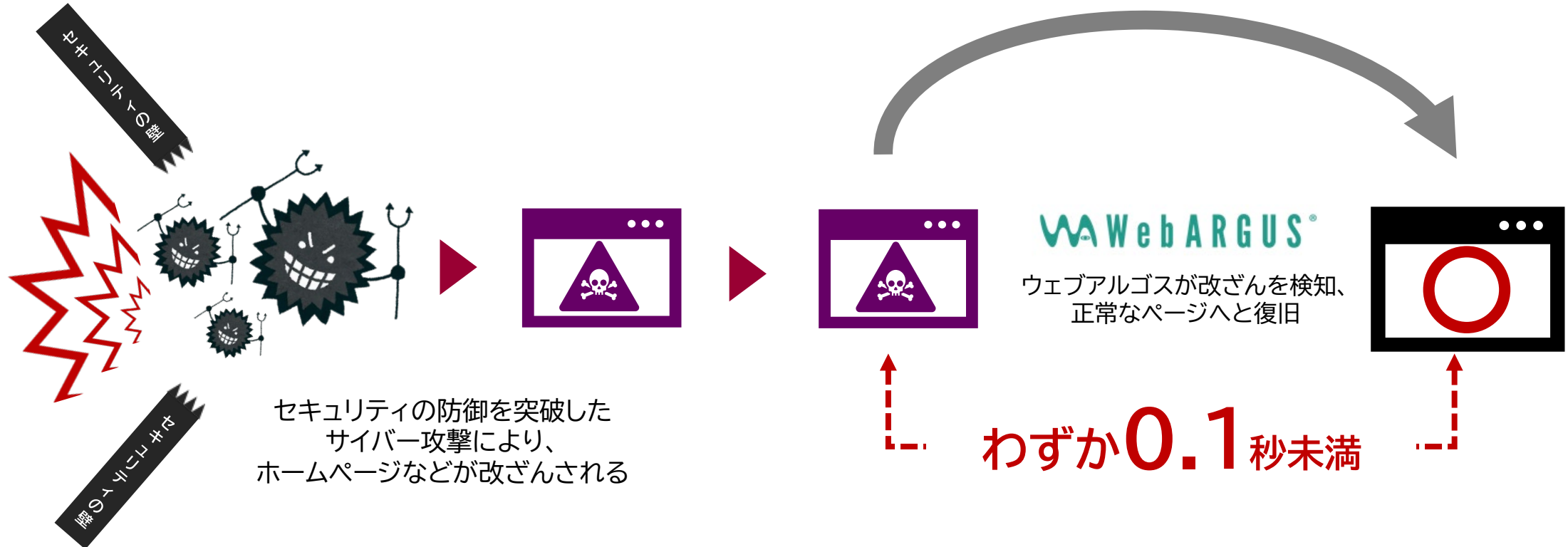
動画視聴



ウェブアルゴスはWebサイトの改ざん検知・復旧に特化したサブスクリプションモデルのセキュリティソフト。改ざんの検知から復旧までを僅か0.1秒未満で対応

セキュリティの防御を破ったサイバー攻撃により、  
サイト情報が誤情報に改ざんされても...

ウェブアルゴスは改ざんを瞬時に検知し、  
元の正しい状態へと復旧。その間わずか0.1秒未満






# 実況！ネット世界のサイバー攻撃



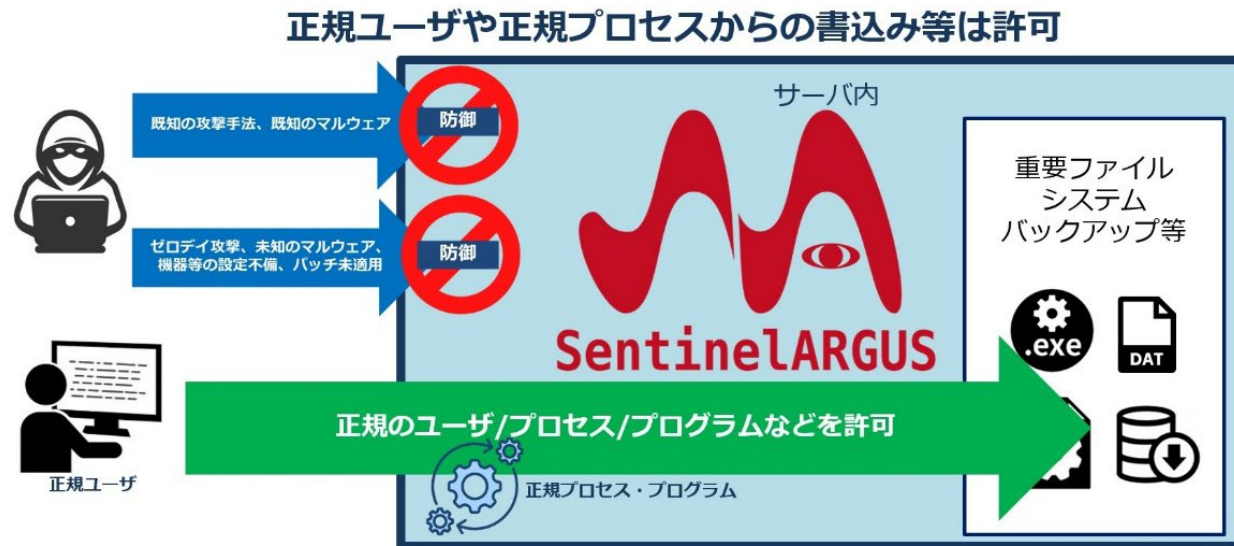


# WebARGUSから派生したセキュリティサービス①

 **SentinelARGUS** (センチネルアルゴス) ランサムウェア被害から企業データを守るセキュリティ製品

サーバー内の重要なファイルやシステムを変更不可にすることで、ランサムウェアの攻撃を無効化。シンプルな操作と柔軟性の高い運用で、業務影響を最小限に抑えつつ、企業の重要資産を守ります。

## ➤ SentinelARGUSの防御方法



## 特徴

- ✓ ウイルス感染や不正アクセスなど外部からの侵入をリアルタイムで検知
- ✓ 許可されたアカウント以外のアクセスを制限し、ファイルを改変させない仕組み

# WebARGUSから派生したセキュリティサービス②

## 組込み機器向けセキュリティ対策ソリューション RezOT(レジオット)を開発

2025年9月リリース

- ネットワークに接続されるIoT対応の組込み機器が対象
- 現在、導入対象のIoT機器と「RezOT」との最適化作業を進めるとともに、早期の市場展開と拡販体制の確立を推進
- 「RezOT」を組込むIoT機器の増加にともない収益が積み上がるビジネスモデルを推進するとともに、当社の組込みソフトウェア開発技術を活かしたRezOT導入カスタマイズサービスの提供を視野に

### RezOTで当社が描く未来

# RezOT

レ ジ オ ッ ト  
(Resilient Operational Technology)



積上げ型収益  
モデル



+



導入カスタマイズ  
サービス提供

1

組込み開発では  
セキュリティ対策  
が必須化

2

サイバー攻撃は  
予防だけでなく  
検知・復旧対策  
も重要に

3

セキュリティ対策  
を備えた組込み  
機器・ソフトの  
需要増

# トピックス: AIに関する取り組み

## AIによる品質保証サービス

- IT開発において属人化されやすいQA(品質保証=Quality Assurance)の工程へAIを活用しサービス化
- 「当社独自のセキュリティ技術」を活用することで、安全にクラウド型AIサービスを活用

### AI検証プラットフォーム「Qualicia(クオリシア)」のイメージ





# 2030年経営目標

**50** (フィフティ) ・ **50** (フィフティ) ・ **50** (フィフティ) **超えへの挑戦！**

	2025/6期 実績		2030/6期 目標 (新規事業・M&A含む)
売上高	241億円	▶	500億円(50billion)以上
営業利益	30億円	▶	50億円以上
配当性向	49.0%	▶	50.0%以上

# 当社グループのM&A戦略

M&Aの位置づけ 『事業基盤』×『成長要素』×『経営基盤強化』をさらに強固にすること

**事業基盤**

- 既存ビジネス高度化
- 既存ビジネスの販路を活用したクロスセル/アップセル

×

**成長要素**

- 新たな販路開拓
- マーケティング、商材企画、販売力の強化
- 先端技術、専門的な業務ノウハウ獲得

×

**経営基盤強化**

- 優秀なエンジニアの確保
- 社員の意識向上

M&A対象企業およびDITのステークホルダー双方にとってWin-Winとなること

## 実績と今後

			カンパニー（ビジネスユニット）											
			BS	eB	SB	ES	NN	QE	EM	xoB	ITS	DX		
事業領域	ビジネスソリューション事業	業務システム開発	●	●			●		●				System Products Co., Ltd. システム・プロダクト株式会社	さらなる強化領域
		運用サポート			●								SIMPLISM.INC	
	エンベデッドソリューション事業	組込みシステム開発				●	●							さらなる強化領域
		組込みシステム検証						●					DIT AMERICA, LLC. Digital Information Technologies Corporation	
	プロダクトソリューション事業									●	●	●	DIT マーケティングサービス株式会社 DIT Marketing Services Co., Ltd. <b>Jungle</b>	さらなる強化領域
	システム販売事業								●				DIT マーケティングサービス株式会社 DIT Marketing Services Co., Ltd.	

# 株式分割を発表

- 今後の更なる株式の流動性向上を図るため、2025年11月14日に株式分割の実施を発表
- 2026年1月1日以降、1株を2株へと分割

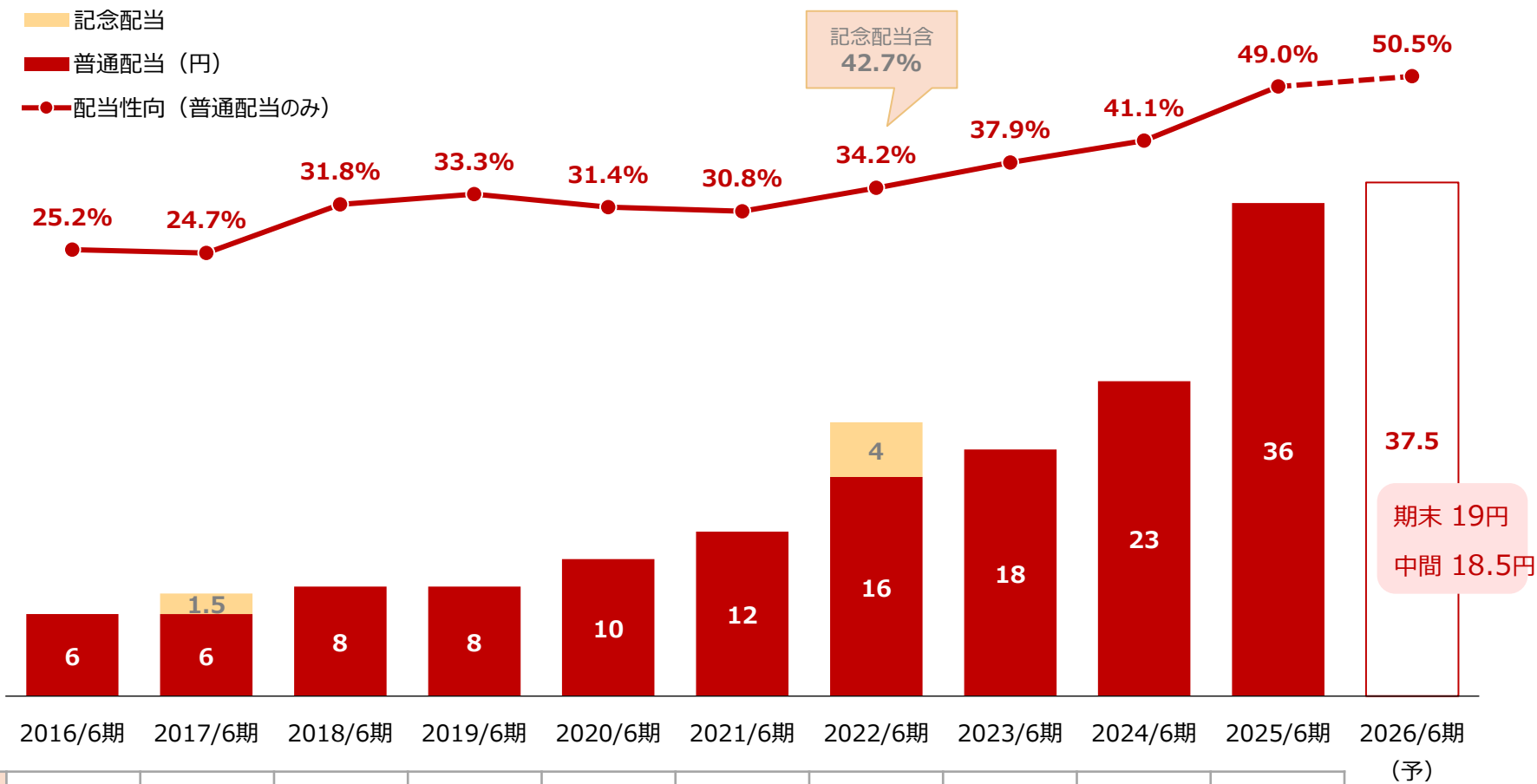
株式分割の詳細	
・ 株式分割前の 発行済み株式総数	15,501,820株
・ 株式分割の比率	1 : 2（1株を2株に分割）
・ 株式分割後の 発行済み株式総数	31,003,640株
・ 基準日	2025年12月31日
・ 効力発生日	2026年1月1日

# 株主還元方針と配当推移

◆ 配当性向50%以上目標

◆ 26/6期は年間配当金  
37.5円を予想

◆ 自己株式取得を含め、  
今後も積極的な株主還元  
を重視して経営を推進



自己株式の取得 (百万円)	0	0	136	209	0	0	0	347	137	488
総還元性向	—	—	57.5%	61.7%	—	—	—	61.9%	49.2%	71.4%

※1 1株あたり配当金は1株当たり配当金は株式分割を考慮した額を記載(2016年10月1日付で普通株式1株につき2株、2018年4月1日付で同1株につき2株の株式分割を実施)しています。  
※2 2026年1月1日付で実施した1株を2株とする株式分割を考慮した場合の金額です。

# (ご参考)2026年6月期 第2四半期 決算総括

- 売上高は第2四半期累計で過去最高を記録
- 年賀状ソフト販売終了の影響で営業利益は減益となったものの、減益幅は計画を上回って抑制
- 通期計画に対する進捗は概ね想定どおりであり、計画達成に向け順調

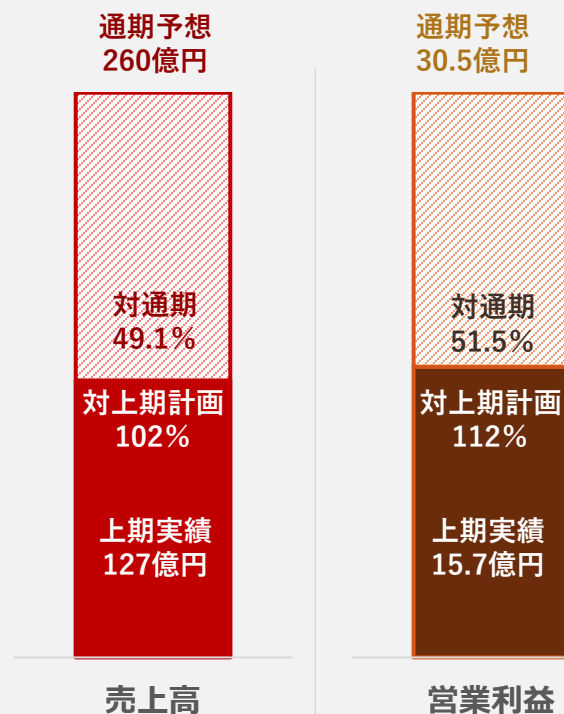
## 主要業績

**売上高** : **12,753**百万円  
(前期比+8.0%)

**営業利益** : **1,570**百万円  
(同 -1.9%)

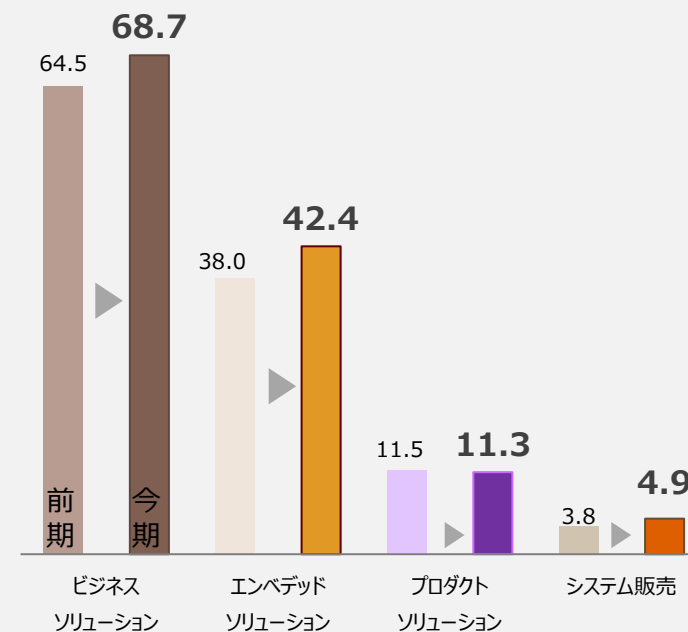
**営業利益率** : **12.3%**  
(同 -1.3point)

## 業績予想に対する進捗



## 事業別売上高

(単位：億円)



# DITグループの特長(まとめ)

## 当社の4つの特長

1 景気変動に強い  
幅広い業種対応と  
優良顧客による  
安定収益基盤

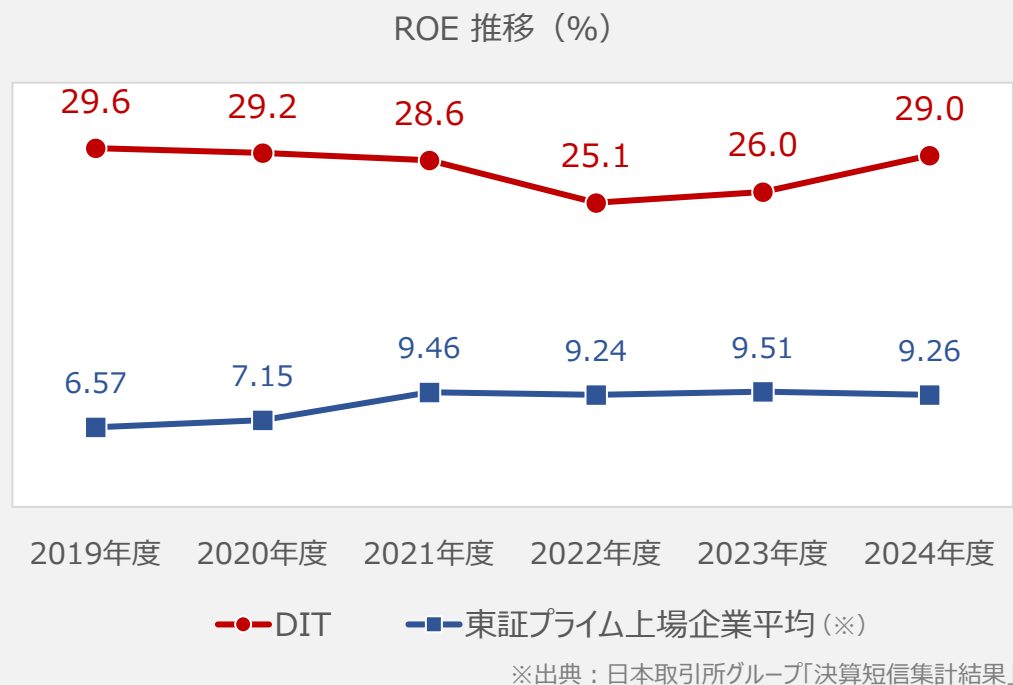
2 自社開発で独自性  
の高いセキュリ  
ティ商材への投資



3 2030年売上倍増  
目指し、M&Aや  
人材等へ積極投資

4 配当性向50%、  
株式分割など積極  
的な株主還元施策

株主資本を最大限に活かす  
効率的な経営を実現しています



東京証券取引所および日本経済新聞社が共同で算出する  
「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に継続して選定されました。  
(2025年度指数は、2025年8月29日から2026年8月28日まで適用)

# ご清聴ありがとうございました



デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社

- ・この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ・本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- ・Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。